

「横浜の環境」

～横浜市環境管理計画年次報告書～ について

「横浜市環境管理計画」と

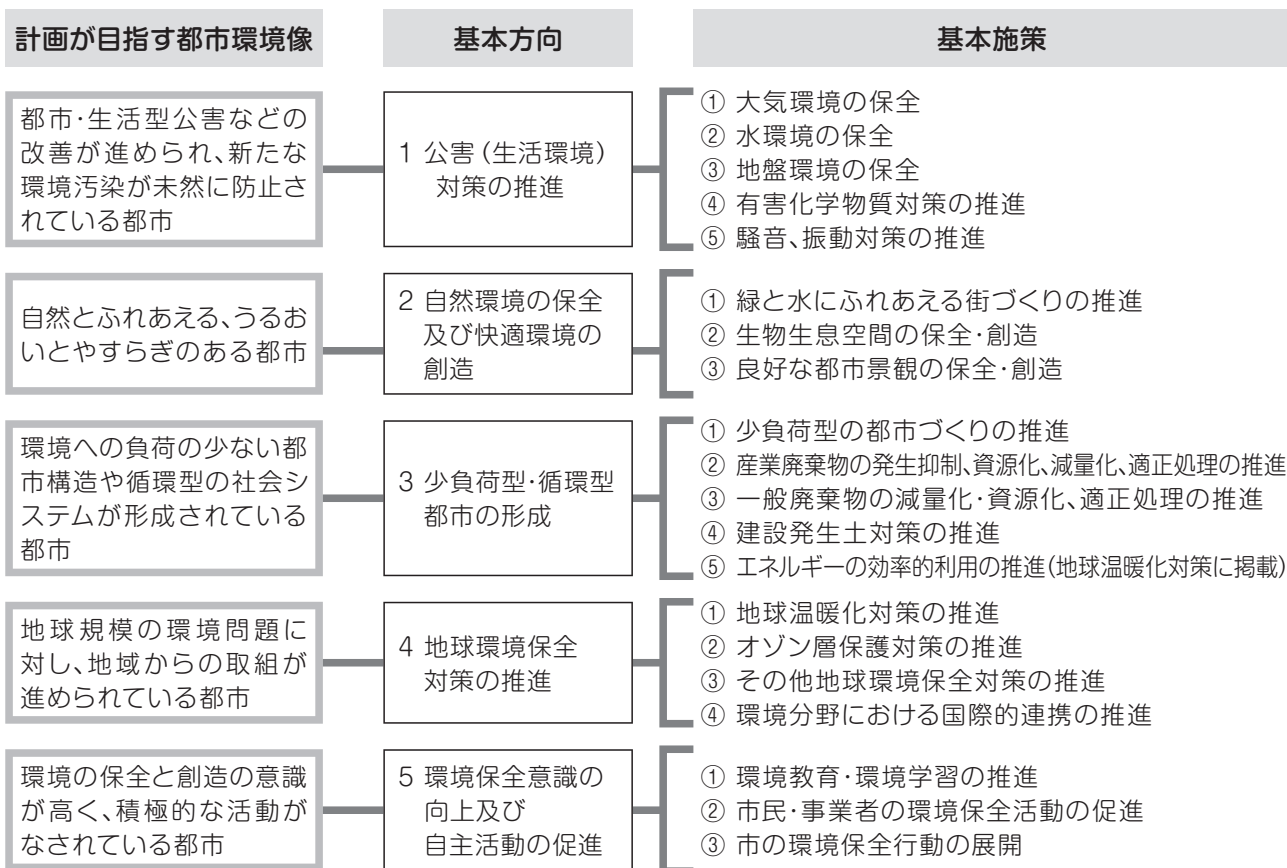
本書（横浜の環境～横浜市環境管理計画年次報告書～）の役割について

横浜市では、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、「横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例」に基づき、「横浜市環境管理計画」を策定しています（平成8年策定、平成16年改訂、計画期間：平成22年度）。この計画は、市、市民、事業者の役割を示し、三者が一体となって環境の保全及び創造に積極的に取り組んでいくことを定めており、今日

の環境問題の解決がはかられている望ましい都市横浜の姿（5つの都市環境像）を掲げるとともに、20の基本施策を定め、その実現を目指すことを目的としています。

本書は、環境管理計画に掲げた施策・事業の進捗よく状況をまとめ、毎年、年次報告書として公表しているものです。

施策・事業体系図



新たな環境管理計画の策定に向けて

現行の環境管理計画の計画期間は平成22年度までとなっています。横浜市は、これからの環境政策の基軸となる新たな計画の策定に向け、横浜市環境創造審議会からの答申を踏まえた検討を進めてい

ます。新たな計画では、市民活動・市内経済の活性化・まちづくりと環境の取組とのつながりの強化を目指し、目標や施策を設定する予定です。

主な取組の振り返り

新たな計画の策定とともに、環境の取組を充実・強化し、かけがえのない環境を未来につなげるため、現行計画の計画期間に実施してきた、横浜市の主な環境行政の取組を振り返ります。

CO-DO30 ～“環境モデル都市・横浜”の取組～

- 地球温暖化対策は、地球規模で危機感を持って緊急的に取り組むべき課題として、市民や事業者の関心が高まっています。大都市横浜では、様々な都市活動から温室効果ガスを大量に発生させています。このような状況を踏まえ、従来の取組を進めていくだけでは、今後予測される深刻な影響を回避することは困難であるとの認識のもと、平成20(2008)年1月に「横浜市脱温暖化行動方針(CO-DO30)」を策定しました。
- また、平成20(2008)年3月に政府から「環境モデル都市」に選定されました。
- 現在、横浜市では、世界を先導する次世代エネルギー供給・社会システムを構築するため、「横浜スマートシティプロジェクト」を推進しています。



水と緑にふれあえるまちづくり ～みどりアップの取組～

- 緑の七大拠点をはじめとする拠点となる緑の保全と創造、河川流域単位で展開する快適な水環境づくりや自然な水循環の回復、水と緑の環境を市民とともに楽しみながらつくり育てる取組などを推進することを目指して、「横浜市水と緑の基本計画」を平成18(2006)年に策定しました。
- 横浜の街や暮らしに緑を増やし、緑豊かな環境を次世代に継承するため、市民・事業者・行政が協働して市内に150万本の木を植える取組にチャレンジしました(平成18年度～21年度)。4か年の累計は約185万5千本となり、目標とする150万本を大きく超える成果をあげることができました。
- 緑の量と質を維持・向上させ「緑豊かなまち横浜」を次の世代に引き継いでいくため、樹林地を守る・農地を守る・緑をつくるを三本の柱とした「横浜みどりアップ計画」に取り組んでいます。平成21(2009)年度からは、「横浜みどり税」を一部財源とした、新規・拡充施策も始めました。



ヨコハマはG30 ～ごみ量削減の取組～

- 平成13(2001)年当時、横浜市のごみ量は、人口の伸びを上回って増加し、環境への負荷も増大していたことから、これまでの焼却処理、埋立処分を中心とする廃棄物対策からの転換が求められていました。
- そこで、大量生産・大量消費・大量廃棄などの仕組みを見直すとともに、有限な資源を大切にし、可能な限り再使用・リサイクルする循環型の社会システムを構築するため、市民・事業者の皆さんと協働し、一体となつてごみ減量・リサイクルに取り組む「横浜G30プラン」を平成15(2003)年1月に策定し、取組を進めています。
- 平成21年度の全市のごみ量は、約93万トンで、平成13年度に対して42.2%(約67万9千トン)減少しました。



“生物多様性”の保全・再生・創造と環境行動の実践

- 近年、地球温暖化問題とともに、生物多様性の喪失が様々なところで取り上げられるようになりました。横浜市でも、急速な都市化の進展により、市内の自然やそこで生息、生育する生き物が大きく失われてきました。
- これまでも市民・事業者の活発な環境活動が行われていましたが、豊かな生物多様性を実感できるライフスタイルを実現するために、「生物多様性横浜行動計画」を策定し、環境行動のより一層の活性化を目指します。
- 平成22(2010)年は、国際生物多様性年です。横浜市では、「生物多様性リレートーク」や「よこはまいきものカーニバル」、「生物多様性シンポジウム」など、様々なイベントを開催し、生物多様性の大切さを伝えていきます。
- また、山下公園前の海域などで海域生物の浄化能力を活用した海づくりの取組をスタートしました。

ハマが好きだから守ろう いのちのゆりかご 森川海

横浜市生物多様性キャッチフレーズ